

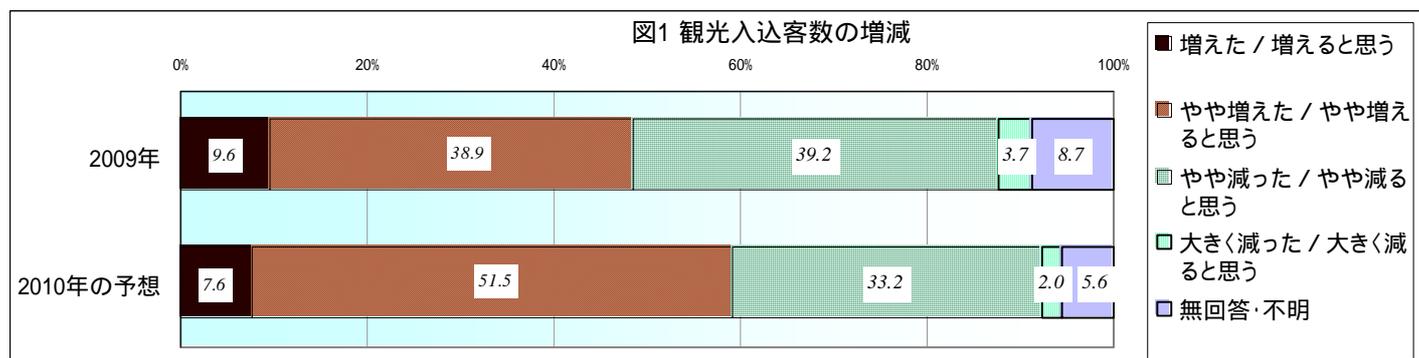
集計結果

【調査概要】

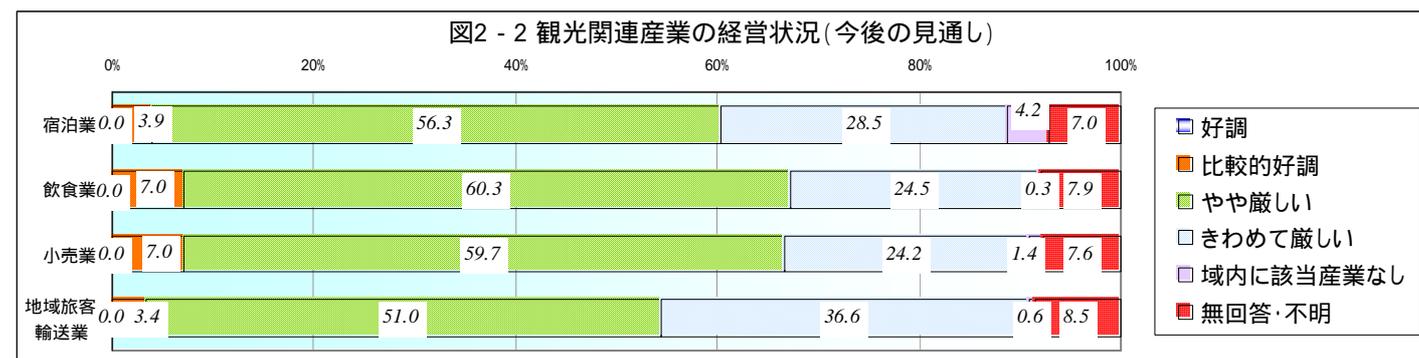
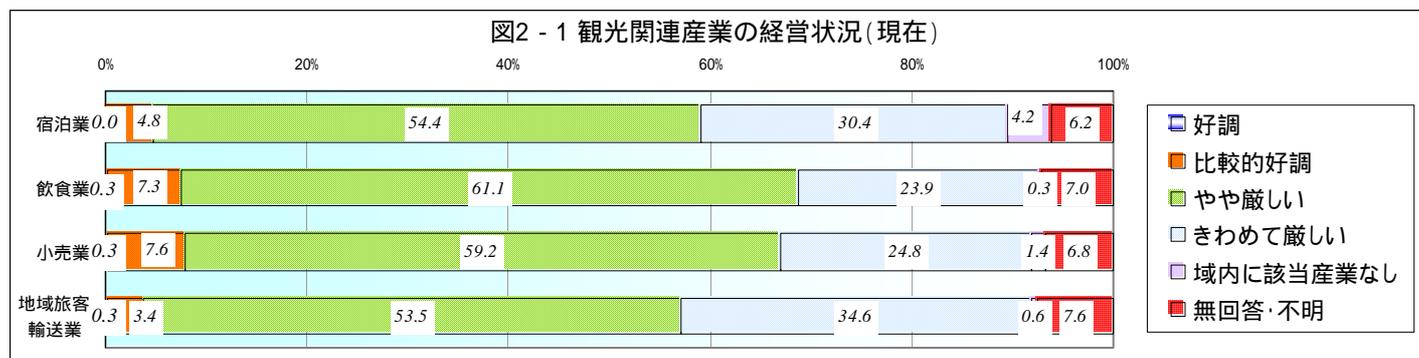
1. 調査対象：全国の都道府県及び市の観光政策または地域振興担当課（834自治体）
2. 実施時期：平成21年12月18日から平成22年1月8日まで
3. 調査方法：郵送法
4. 回答総数：355通（回答率42.6%）

【集計結果概要】

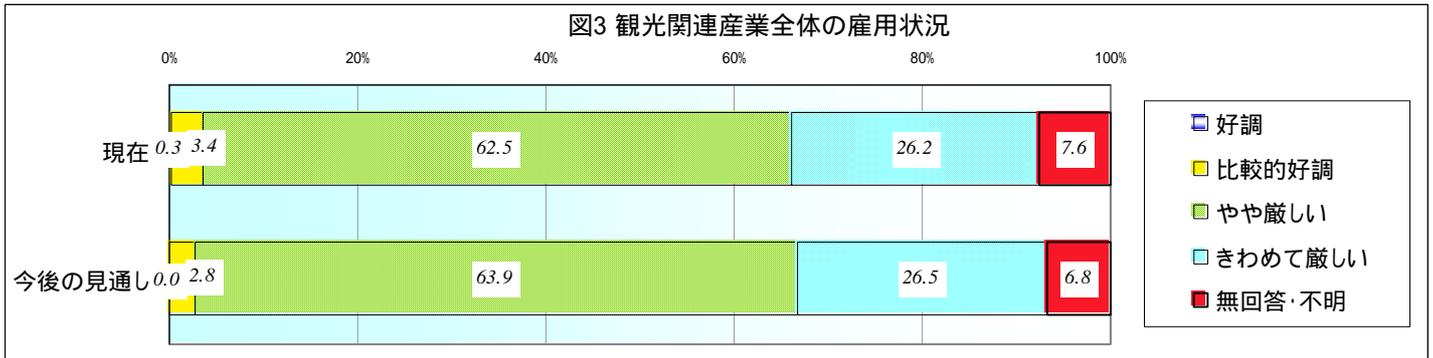
1. 2009年の観光入込客数は、「増えた」9.6%、「やや増えた」38.9%と約半数が増えたと回答している。
2010年の予想は「増えると思う」・「やや増えると思う」が59.1%で、2009年に比べ10ポイント程度増加している。（問1）



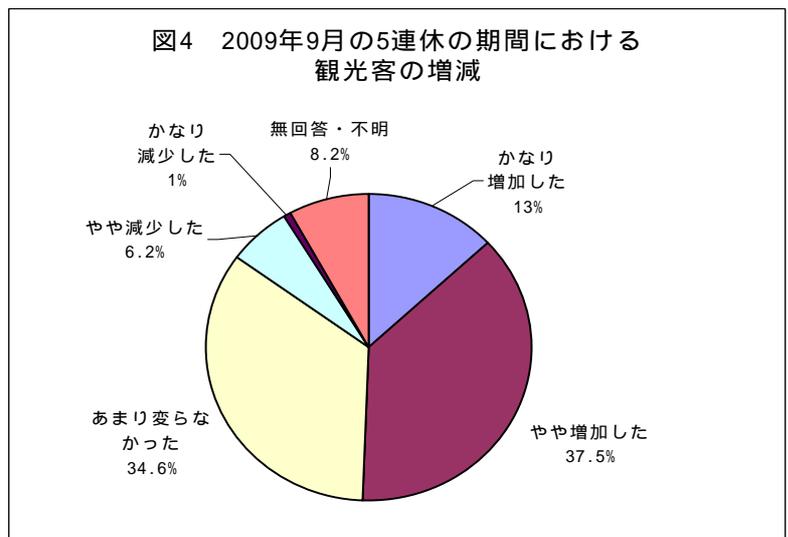
2. 観光関連産業の経営状況は、宿泊業、飲食業、小売業、旅客輸送業のすべての業種において「やや厳しい」が過半数を超え、「きわめて厳しい」を合わせると84～89%に達する。今後の見通しでは「好調」の回答がすべての業種で0%となるなど、厳しい状況が続くと考えていることが窺える（問2）



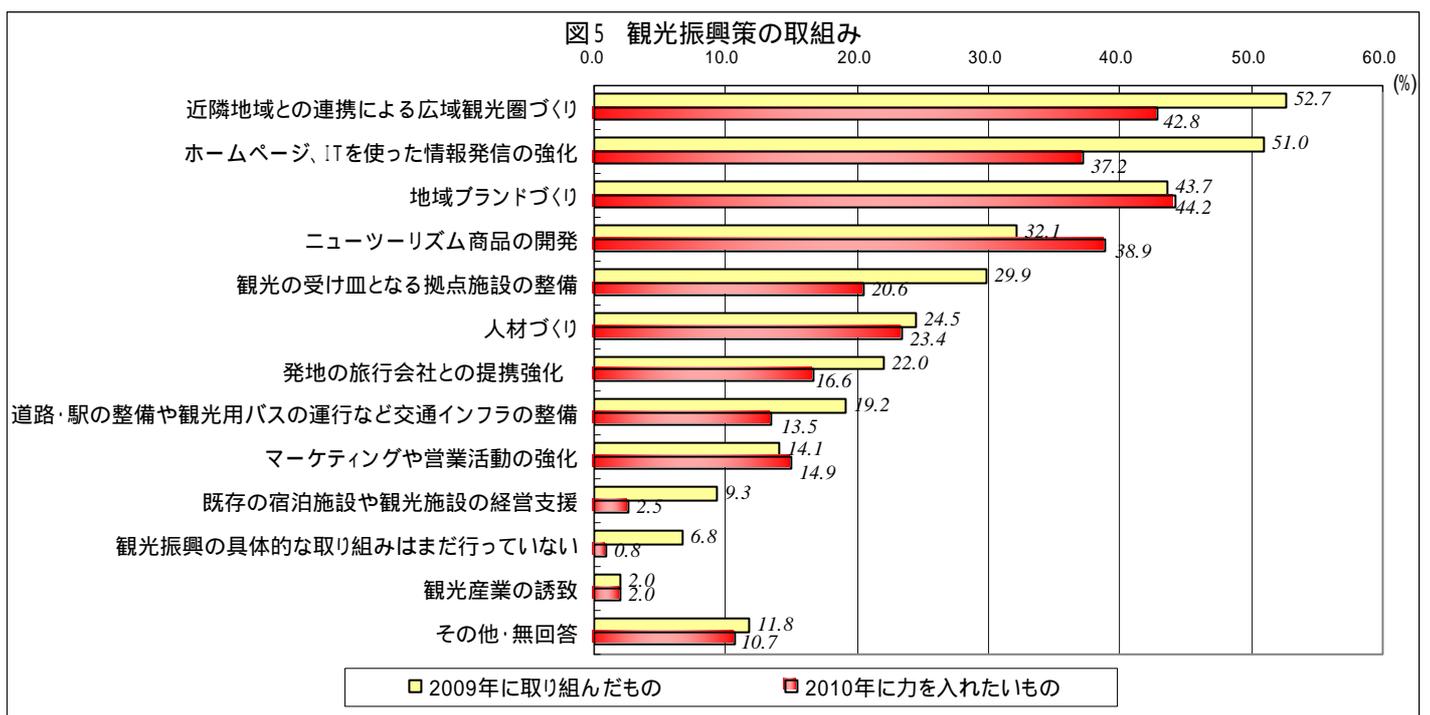
3. 観光関連産業の雇用状況は、「やや厳しい」が62.5%で最も多く、「きわめて厳しい」と合わせると88.7%に上る。今後の見通しを現在と比較すると「やや厳しい」が1.4ポイント、「きわめて厳しい」が0.3ポイント上っており、厳しさは増すと考えられている傾向を示している。(問3)



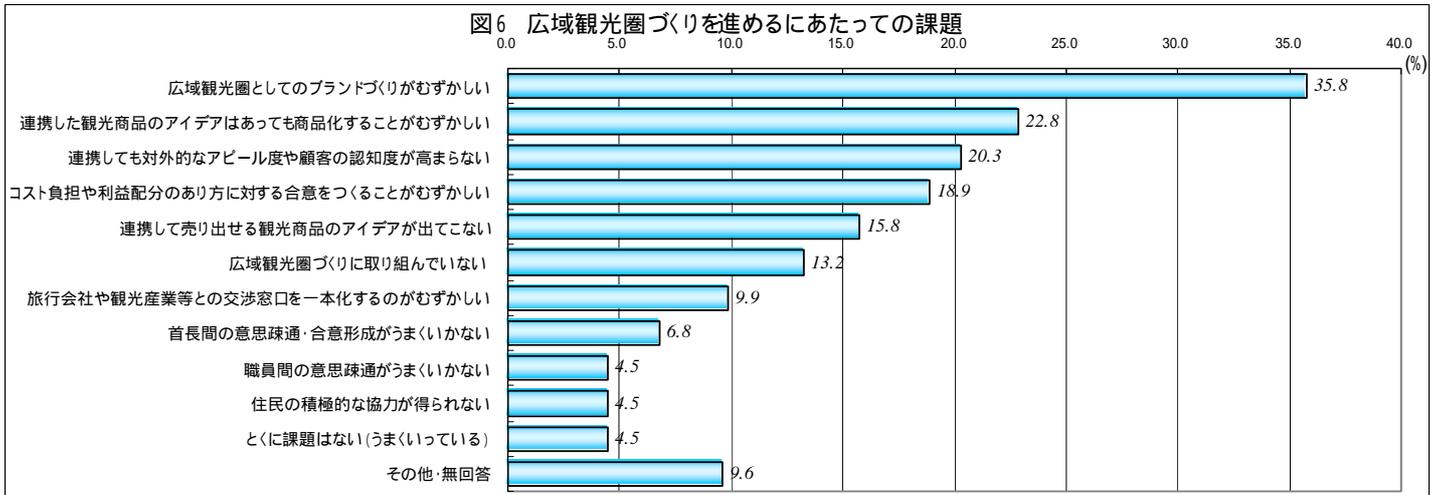
4. 昨年と比較した、2009年9月の5連休(シルバーウィーク)における観光客数の変化は、「かなり増加した」が13.0%、「やや増加した」が37.5%と「増加した」との回答が過半数を占めた。



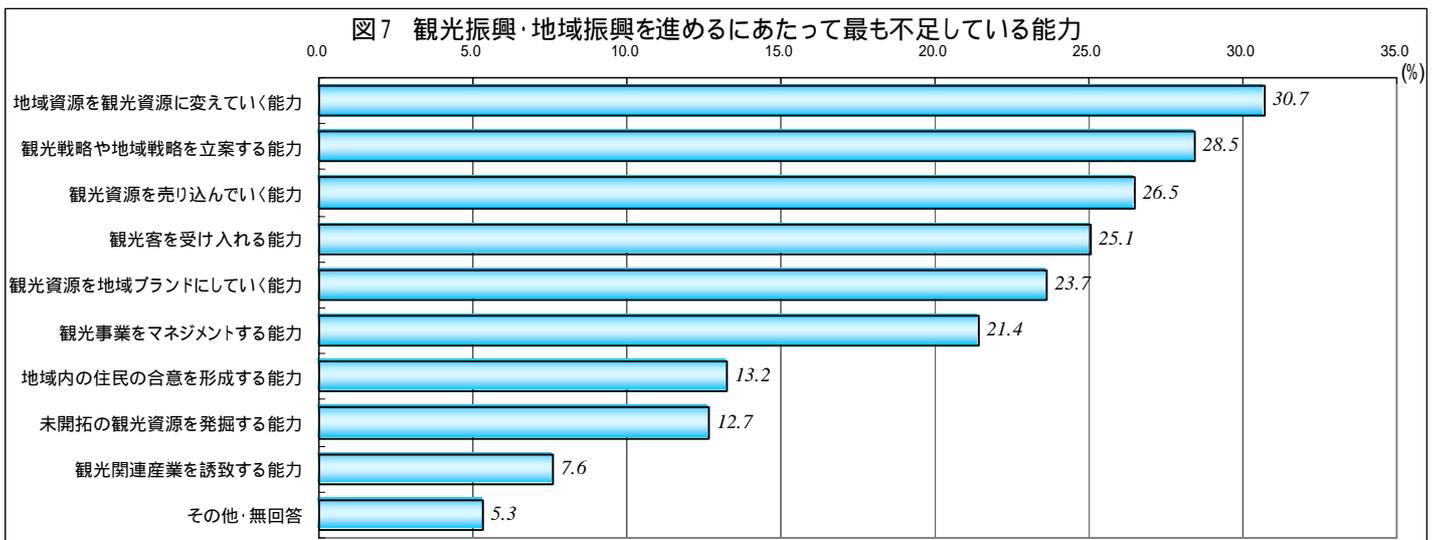
5. 2009年に取り組んだ観光振興策では、「近隣地域との連携による広域観光圏づくり」、「ホームページ、ITを使った情報発信の強化」が過半数を超えた。2010年に力を入れたいものでは「地域ブランドづくり」(44.2%)、「近隣地域との連携による広域観光圏づくり」(42.8%)、「ニューツーリズム商品の開発」(38.9%)が多い。



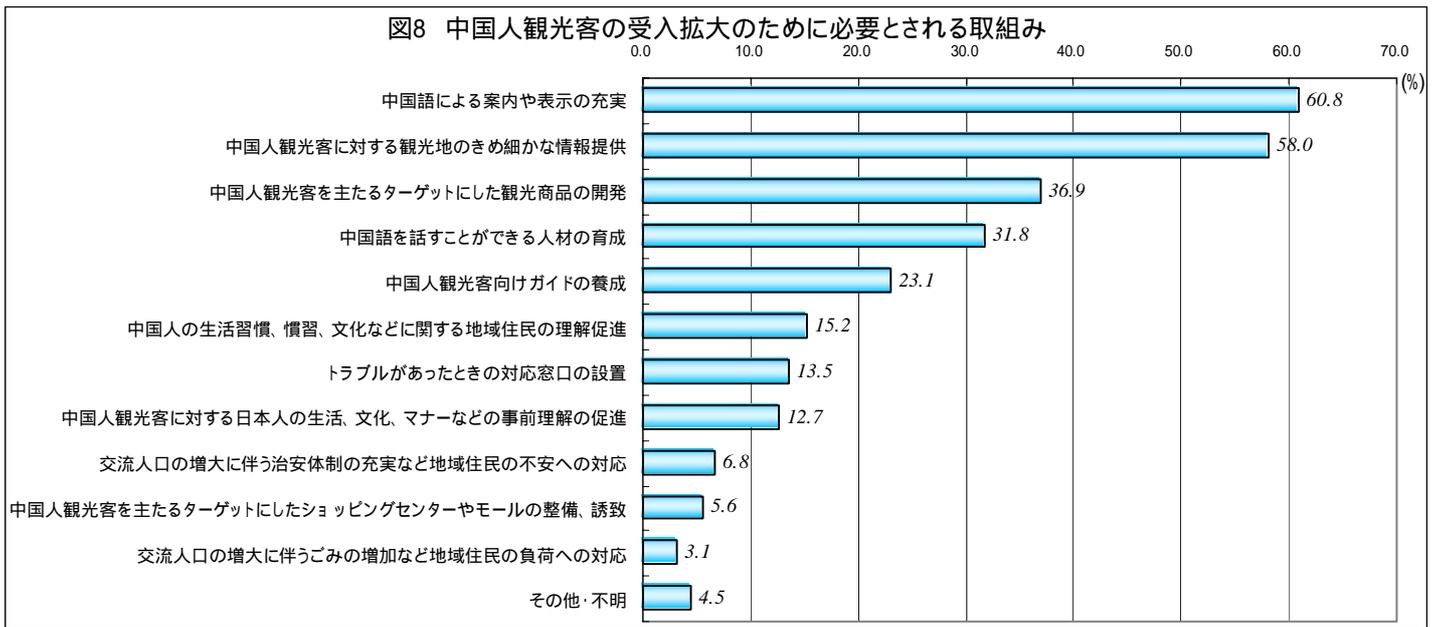
6. 広域観光圏づくりを進めるにあたっての課題については、「広域観光圏としてのブランドづくりがむずかしい」(35.8%)が3分の1以上を占める。このほかでは、「連携した観光商品のアイデアはあっても商品化することがむずかしい」(22.8%)、「連携しても対外的なアピール度や顧客の認知度が高まらない」(20.3%)の回答も多い。「とくに課題はない(うまくいっている)」と回答する自治体も4.5%ある。(問6)



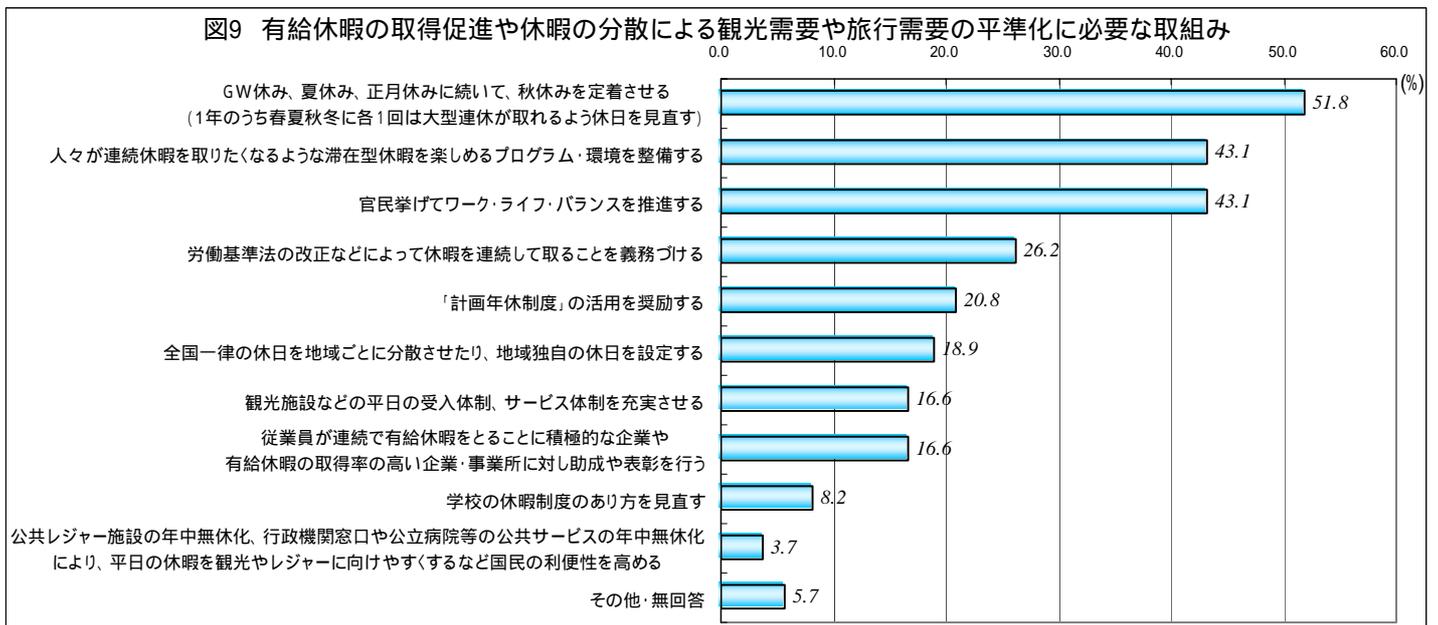
7. 観光振興・地域振興を進めるにあたって最も不足している能力については、「地域資源を観光資源に変えていく能力」(30.7%)が最も多く、次いで「観光戦略や地域戦略を立案する能力」(28.5%)となっている。(問7)



8. 中国人観光客の受け入れ拡大のために必要な取組みは、「中国語による案内や表示の充実」(60.8%)と「中国人観光客に対する観光地のきめ細かな情報提供」(58.0%)の2つの回答が過半数となった。(問8)



9. 有給休暇の取得促進や休暇の分散による観光需要や旅行需要の平準化に必要な取組みは「秋休みを定着させる」が51.8%と最も多い。「人々が連続休暇を取りたくなくなるような滞在型休暇を楽しめるプログラム・環境を整備する」と「官民挙げてワーク・ライフ・バランスを推進する」がともに43.1%で続いている。(問9)



【設問と集計結果】(単位：%)

1. 観光産業の状況

問1 昨年と比較した今年の貴地域の観光入込客数の増減についてお答えください。また、来年の予想をお答えください(1つ選択)。

(2009年)		(2010年の予想)
1. 増えた (9.6)	➡	1. 増えると思う (7.6)
2. やや増えた (38.9)		2. やや増えると思う (51.5)
3. やや減った (39.2)		3. やや減ると思う (33.2)
4. 大きく減った (3.7)		4. 大きく減ると思う (2.0)
無回答 (8.7)		無回答 (5.6)

問2 貴地域における観光関連産業の経営状況は全般にどのような状況ですか。現在と今後の見通しに分けてお答えください(1つ選択)。

		好調	比較的好調	やや厳しい	きわめて厳しい	該当産業なし・無回答
(1) 旅館・ホテル等の宿泊業	現在	0.0	4.8	54.4	30.4	10.4
	今後	0.0	3.9	56.3	28.5	11.2
(2) 飲食業	現在	0.3	7.3	61.1	23.9	7.3
	今後	0.0	7.0	60.3	24.5	8.2
(3) 物産等の小売業	現在	0.3	7.6	59.2	24.8	8.2
	今後	0.0	7.0	59.7	24.2	9.0
(4) バス・タクシーなど地域の旅客輸送業	現在	0.3	3.4	53.5	34.6	8.2
	今後	0.0	3.4	51.0	36.6	9.1

問3 観光関連産業全体での雇用状況はどうですか。現在と今後に分けてお答えください(1つ選択)。

(現在)		(今後の見通し)
1. 好調 (0.3)	➡	1. 好調 (0.0)
2. 比較的好調 (3.4)		2. 比較的好調 (2.8)
3. やや厳しい (62.5)		3. やや厳しい (63.9)
4. きわめて厳しい (26.2)		4. きわめて厳しい (26.5)
無回答 (7.6)		無回答 (6.8)

問4 今年(2009年)9月の5連休の期間、貴地域への観光客は通常の年よりも増えましたか。(1つ選択)。

1. かなり増加した (13.0)
2. やや増加した (37.5)
3. あまり変わらなかった (34.6)
4. やや減少した (6.2)
5. かなり減少した (0.6)
6. 無回答 (8.2)

2. 地域の観光振興に対する取り組み

問5 貴地域では、観光振興策としてどのような取り組みを行っていますか。2009年取り組んだものを以下の選択肢から選んで印をつけてください(はいいくつでも可)。また2010年、特に重要と考えるものを3つ選んで印をつけてください。

	2009年に取り組んだもの (はいいくつでも可)	2010年に力を入れたい こと(はい3つまで)
ニューツーリズム商品の開発 ¹	32.1	38.9
既存の宿泊施設や観光施設の経営支援	9.3	2.5
観光の受け皿となる拠点施設の整備	29.9	20.6
道路・駅の整備や観光用バスの設置など交通インフラの整備	19.2	13.5
地域ブランドづくり	43.7	44.2
発地の旅行会社との提携強化 ²	22.0	16.6
観光産業の誘致	2.0	2.0
ホームページ、ITを使った情報発信の強化	51.0	37.2
近隣地域との連携による広域観光圏づくり	52.7	42.8
人材づくり	24.5	23.4
マーケティングや営業活動の強化	14.1	14.9
観光振興の具体的な取り組みはまだ行っていない	6.8	0.8
その他及び無回答	11.8	10.7

1 「ニューツーリズム」とは、従来の物見遊山的な観光旅行に対し、テーマ性が強く、人や自然とのふれあいなど体験的要素を取り入れた新しいタイプの旅行を指します。テーマとしては、産業観光、エコツーリズム、グリーンツーリズム、ヘルスツーリズム、ロングステイなどがあります。

2 「発地」とは旅行客の出発地のことです。おおよそ都市部のことを指します。

問6 貴地域では、近隣地域との連携による広域観光圏づくりを進めるにあたって、どのようなことが課題となっていますか。次の中から最も近いと思われる課題を2つ(2つ以内)選んでください。(2つ以内選択)

1. 首長間の意思疎通や合意形成が進まない (6.8)
2. 職員間の意思疎通がうまくいかない (4.5)
3. 連携して売り出せる観光商品のアイデアが出てこない (15.8)
4. 連携した観光商品のアイデアはあっても商品化することがむずかしい (22.8)
5. 広域観光圏としてのブランドづくりがむずかしい (35.8)
6. コスト負担や利益配分のあり方に対する合意をつくることがむずかしい (18.9)
7. 旅行会社や観光産業との交渉窓口を一本化するのがむずかしい (9.9)
8. 住民の積極的な協力が得られない (4.5)
9. 連携しても対外的なアピール度や顧客の認知度が高まらない (20.3)
10. その他・無回答 (9.6)
11. とくに課題はない(うまくいっている) (4.5)
12. 広域観光圏づくりに取り組んでいない (13.2)

問7 貴地域では、観光振興、地域振興を進めるにあたって、どのような能力が不足しているとお考えですか。最も欠けていると考えられるもの上位2つを次の中から選んでください(2つ選択)。

1. 観光戦略や地域戦略を立案する能力 (28.5)
2. 地域内の住民の合意を形成する能力 (13.2)
3. 未開拓の観光資源を発掘する能力 (12.7)
4. 地域資源を観光資源に変えていく能力 (30.7)
5. 観光資源を売り込んでいく能力 (26.5)
6. 観光資源を地域ブランドにしていく能力 (23.7)
7. 観光関連産業を誘致する能力 (7.6)
8. 観光事業をマネジメントする能力 (21.4)
9. 観光客を受け入れる能力(観光施設や宿泊施設などが足りない) (25.1)
10. その他・無回答 (5.3)

問8 中国人観光客の個人ビザ取得条件の緩和が検討されるなど中国からの訪日観光客の増加に期待が寄せられていますが、中国人観光客の受け入れを拡大していくためにどのような取組みが必要だとお考えですか。次の中からお考えに近いものを3つ(3つ以内)選んでください。

- | | |
|---|-------------|
| 1. 中国人観光客を主たるターゲットにした観光商品の開発 | (3 6 . 9) |
| 2. 中国人観光客を主たるターゲットにしたショッピングセンターやモールの整備、誘致 | (5 . 6) |
| 3. 中国人観光客に対する観光地のきめ細かな情報提供 | (5 8 . 0) |
| 4. 中国人観光客に対する日本人の生活、文化、マナーなどの事前理解の促進 | (1 2 . 7) |
| 5. 中国人の生活習慣、慣習、文化などに関する地域住民の理解促進 | (1 5 . 2) |
| 6. 中国語による案内や表示の充実 | (6 0 . 8) |
| 7. 中国語を話すことが出来る人材の育成 | (3 1 . 8) |
| 8. 中国人観光客向けガイドの養成 | (2 3 . 1) |
| 9. トラブルがあったときの対応窓口の設置 | (1 3 . 5) |
| 10. 交流人口の増大に伴う治安体制の充実など地域住民の不安への対応 | (6 . 8) |
| 11. 交流人口の増大に伴うごみの増加など地域住民の負荷への対応 | (3 . 1) |
| 12. その他・無回答 | (4 . 5) |

問9 国内観光需要を喚起するため、有給休暇の取得促進や休暇の分散による観光需要や旅行需要の平準化が課題になっていますが、どのような取組みが必要だとお考えですか。次の中からお考えに近いものを3つ(3つ以内)選んでください。

- | | |
|--|-------------|
| 1. GW休み、夏休み、正月休みに続いて、秋休みを定着させる(1年のうち春夏秋冬に各1回は大型連休が取れるよう休日を見直す) | (5 1 . 8) |
| 2. 全国一律の休日を地域ごとに分散させたり、地域独自の休日を設定する | (1 8 . 9) |
| 3. 学校の休暇制度のあり方を見直す | (8 . 2) |
| 4. 観光施設などの平日の受入体制、サービス体制を充実させる | (1 6 . 6) |
| 5. 公共レジャー施設の年中無休化(平日休業の撤廃)、行政機関窓口や公立病院等の公共サービスの年中無休化(休日の営業日化)により、平日の休暇を観光やレジャーに向けやすくするなど国民の利便性を高める | (3 . 7) |
| 6. 人々が連続休暇を取りたくなるような滞在型休暇を楽しめるプログラム・環境を整備する | (4 3 . 1) |
| 7. 従業員が連続で有給休暇を取ることに積極的な企業や有給休暇の取得率の高い企業・事務所に対し助成や表彰を行う | (1 6 . 6) |
| 8. 労働基準法の改正などによって休暇を連続して取ることを義務づける | (2 6 . 2) |
| 9. 「計画年休制度」(企業と労働組合との協定によって有給休暇日数の5日を超える部分については時期を計画的に定め、職場で一斉に、あるいは交替で休暇を取得することができる制度)の活用を奨励する | (2 0 . 8) |
| 10. 官民挙げてワーク・ライフ・バランスを推進する | (4 3 . 1) |
| 11. その他・無回答 | (5 . 7) |

(参考:回答自治体について)

(内訳)	(人口規模別・市のみ)	(地域別・市のみ)
県 (5 . 9)	人口5万人以下 (3 1 . 0)	北海道 (5 . 4)
市 (9 2 . 7)	5万人以上10万人以下 (3 3 . 1)	東北 (1 0 . 1)
不明 (1 . 4)	10万人以上15万人以下 (1 3 . 7)	関東 (2 2 . 5)
	15万人以上20万人以下 (7 . 3)	中部 (2 2 . 5)
	20万人以上50万人以下 (1 1 . 6)	近畿 (1 6 . 3)
	50万人以上 (3 . 3)	中国 (9 . 3)
		四国 (3 . 7)
		九州 (7 . 9)
		沖縄 (0 . 8)
		不明 (1 . 4)

(以上)